



東京都高等学校数学教育研究会
 事務局 都立江戸川高等学校内
 事務局長 藤 田 泉
 発行所 都立武蔵村山高等学校内
 編集発行人 加 藤 竜 吾
 都数研Web <http://tosuiken.jp/>

平成 29 年度総会

平成 29 年度総会が、平成 29 年 5 月 20 日(土)13:30 から、都立武蔵高等学校にて行われた。

会長のあいさつに始まり、議事の流れは下記の通りであった。

- 1 平成 28 年度事業報告
- 2 平成 28 年度決算および監査報告
- 3 東京都高等学校数学教育研究会規約改定について
- 4 平成 29 年度 役員選出(顧問参与の承認を含む)
平成 29 年度 会長あいさつ
- 5 平成 29 年度事業計画
- 6 平成 29 年度予算
- 7 平成 29 年度役員・理事

議事は全て承認された。主な役員は以下のとおりである。

会 長 吉田 亘(大江戸高・校長)
 副 会 長 萩原 聡(江北高・校長)
 北原都美子(啓明学園・学園長)
 事務局 長 藤田 泉(江戸川高・校長)
 事務局次長 石崎 規生(九段中等・校長)
 宇佐美俊哉(保谷高)

研究部長 臼田三知永(小松川高・校長)
 研究副部長 柴田 誠(大泉高兼附属中・校長)
 竹村 恭一(板橋有徳高・校長)
 幸田 諭昭(青井高・校長)

定 通 部 長 萩原 聡(江北高・校長)

編 集 部 長 加藤 竜吾(武蔵村山高・校長)
 編集副部長 奥村 英夫(荻窪高・校長)
 白鳥 靖(多摩科学技術高・校長)
 水本 香(町田高・副校長)
 大島和華子(狛江高・副校長)

監 査 高橋 豊(武蔵高兼附属中・校長)
 梅原 章司(小石川中等・校長)
 原田 能成(雪谷高・校長)

なお、上記 3 にある規約改定は以下の通りである。

(次頁に続く)

会長挨拶

会長 吉田 亘(大江戸高・校長)



昨年度に引き続き、会長としてその任を負うこととなりました。よろしくお願ひ申し上げます。

今年の 1 月 8 日には、会員の皆様のご協力により戸山高校において、都数研 70 周年の記念式典を盛大に行うことができました。さらに、近隣のホテルでの祝賀会においては、顧問、参与等の諸先輩だけでなく、多くの若手の会員の参加により、過去から未来までの数学教育などを語りながら、楽しく過ごす有意義な会となりました。本当に感謝申し上げます。

さて、一昨年度末の高大接続システム会議最終報告を受け、その後の進捗状況について、先日の 5 月 16 日に発表がありました。そこでは、まず、大学入試については、新たに「大学入学共通テスト(仮称)」として、数学 I と数学 A における記述式問題の導入とその問題例、次に基礎学力テストについては、「高校生のための学びの基礎診断(仮称)」と改称され、実施

方法や活用方法等の方向性が示されました。いずれも数学的な見方・考え方を重視し、思考力、判断力、表現力を問うものを含む新しいタイプの問題になると予想されます。今年度中には、さらに具体的な報告が予定されています。また、昨年度の小・中学校に続き、今年度は、高等学校の次期学習指導要領も発表されます。都数研としても、それらの動きを注視しながら、研究部の各分科会や編集部の活動に反映してもらいたいと考えています。

いよいよ来年 8 月には、第 100 回全国算数・数学教育研究(東京)大会が開催されます。この大会では、第 100 回を記念して多くの企画が組まれており、都数研の皆さまにもご協力をいただかなくてはなりません。既に、準備委員会が置かれて、一次案内もほぼできました。8 月には正式な実行委員会が生まれ、多くの会員の皆さまにいずれかの部に所属していただくとともに、お力をお借りすることとなります。よろしくお願ひいたします。また、今年の 12 月には、東京大会の研究発表の申し込みが開始されます。研究部、編集部や会員の皆さまからの数多くの研究発表申し込みを期待しております。